

私たちのゼミでは、「アウトドアスポーツを通じて社会課題を解決すること」「アウトドアスポーツで生じた社会課題を解決すること」を共通のテーマとした研究・実践活動を行っています。

自然体験活動のサポートや、防災イベントへのプログラム提供など、実践を通じた学びの機会から各自の視野を広げ、得られた問題意識を研究に繋げることがゼミの目標になっています。

2024年度は、スポーツ庁主催の「スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション」にゼミ生がエントリーして優秀賞を受賞しました。こうしたコンペティションへの積極的なチャレンジを通じて、ゼミ生同士のコミュニケーションを活性化し、実践的な学びに繋げることもゼミ活動の一部となっています。



活動実績



スポーツ庁主催「スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション2024」で「優秀賞」を受賞

スポーツ庁主催の「スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション2024」が開催され、45点の応募の中から一次審査（書類審査）を通過したアイデア部門12点、デザイン部門5点の二次審査が11月6日（木）に東京・室町三井ホール&カンファレンスで行われました。

審査員は室伏広治スポーツ庁長官をはじめ8人の有識者が務めました。アイデア部門には本学から植木一喜さん（スポーツ総合課程3年）と永岡勇次郎さん（同3年）の2名も選ばれ、熱のこもったプレゼンテーションを披露して「優秀賞」を受賞、11月14日（木）にゼミ担当教員の坂口俊哉講師と共に金久博昭学長へ受賞の報告を行いました。

発表のテーマは、「国立青少年教育施設と子どもを繋げ、自然体験活動の機会が多い街へ」、自然の家と子ども会の仲介役として大学生ボランティアが入ることで、自然の家には利用者の向上を、子ども会には体験の機会を、大学生には学びの機会を提供するというすぐにでも実現可能な「三方よし」の考え方に基づくアイデアを、4分間の持ち時間でプレゼンしました。経済格差がもたらす体験格差の「負の連鎖を打ち切りたい!」というセリフではジェスチャーを交えた仕草が会場の笑いを取り、審査結果発表後の記念撮影では室伏長官にもそのポーズをしていただき、楽しい思い出の記念写真になりました。報告を受けて金久学長は「いつもの競技成績報告とはまた違う内容での表敬訪問を受け、うちの学生の新たな可能性を見せてもらった感じがしてとてもうれしく思います。あなたたちがリーダーシップを取って、後輩たちもどんどん輪の中に入れてあげて、アイデアを形にして可視化する力を身に付け、大学が理想とする学生像のストーリーをつくってってください」と激励しました。同席した前田明理事。副学長も「仲介役を大学生ボランティアが務めるという、学生らしさも出た素晴らしい内容だったと思います」と絶賛しました。

（鹿屋体育大学ホームページより一部抜粋）



室伏広治長官とも断ち切りたい!のポーズ



学長訪問

地域の十五夜イベントへの参加

坂口ゼミは、大学周辺の鶴羽地区の十五夜に参加しています。地域の皆さんに生地から作ったピザをふるまったり、十五夜相撲に参加することで、地域とのかかわりや、地域の文化として根付いてきたスポーツを肌で学ぶことができました。スポーツの奥行きを感じることが、研究の視野が広がることにつながります。



藩で網を作る



町内を練り歩き、綱引きを行う



綱を使い、土俵をつくる。夜から相撲大会が始まる

防災フェスティバルへの参加 「こども防災ミッションアドベンチャー」

令和6年11月24日（日）に、鹿屋市の国立大隅青少年自然の家で初開催となる「SDGs防災フェスティバル」（主催：国立大隅青少年自然の家、共催：鹿屋体育大学）が開催され、約350人が訪れました。

坂口ゼミが出店した、体験しながら防災について学べるブースでは、折りたたんでスペースがどんどん狭くなったブルーシートに何人乗れるのかをチャレンジする体験、防災ラジオを手動で蓄電する体験、炊事用の薪を材木に見立てて作ったタワーの高さを競う体験、水消火器を使った消火リレーの4カ所を体験。各セクションでドラゴンの面を被った4人のゼミ生が、ドラゴンになりきって対応しました。

イベントを終えて坂口講師は「『防災を楽しく学ぶ』をテーマに企画準備を進めてきました。趣旨に賛同していただいた協賛企業や出店ブースの方々の協力のおかげで、楽しめるイベントになったかなと思います。防災とキャンプは親和性も高いので、次回はアウトドアスポーツ関連の企業の方たちにも出店してもらいたいと思っています」と、次回への期待を寄せました。



チームビルディングのプログラムと防災教育の要素を融合させるために試行錯誤する学生



ドラゴンになりきり、ルールを説明する学生

蒼天祭での模擬店に挑戦

蒼天祭での模擬店出店は、私たちにとって日頃学んでいるアウトドアの技術を試す、良い機会となりました。

メニューはシンプルにホットサンドを選びましたが、調理方法は少し工夫しました。家庭用の電化製品ではなく、野外調理で使うカセットコンロを使用。熱源が限られた状況での火加減の調整や、短時間で効率よく調理するスキルを実践しました。具材も、事前に準備しておき、当日の作業を最小限に抑えることで、スムーズな店舗運営を目指しました。

お客様に提供したホットサンドには、単なる調理の技術だけでなく、計画性や臨機応変に対応する力といった、アウトドアで培った経験が詰まっています。

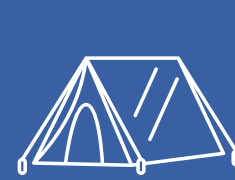
今年も、経験を活かした模擬店を出店しています！
心を込めて作ったホットサンドを、ぜひご賞味ください！



↑この看板が目印



ゼミ生の紹介



永岡勇次郎

学年：4年生

得意なスポーツ：三段跳び

研究テーマ：小学校教育における冒険教育プログラムの実施状況に関する研究

これなら語れる！：コーヒー

植木一喜

学年：4年生

得意なスポーツ：カヌー

研究テーマ：子どもが望む自然体験の実現に向けた子ども会支援のあり方

これなら語れる！：アクアリウム、工作、スターウォーズ

戸川晴仁

学年：3年生

得意なスポーツ：かくれんぼ

研究したいこと：心理的安全性の変化

これなら語れる！：芸能人

上田平浩志

学年：4年生

得意なスポーツ：バスケット、自転車

研究したいこと：ヘルメットスポーツについて

これなら語れる！：競輪

大橋勇樹

学年：3年生

得意なスポーツ：野球

研究したいこと：冬の自然体験が環境意識に与える影響

これなら語れる！：鬼滅の刃

高松奏

学年：3年生

得意なスポーツ：カヌー

研究したいこと：子どもの野外教育について

これなら語れる！：海外旅行

山田健照

学年：3年生

得意なスポーツ：サッカー、筋トレ

研究したいこと：環境教育

これなら語れる！：King Gnu

